

令和6年度第1回浜松市歯科保健推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月25日(木) 午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室
- 3 出席状況
- | | |
|------|--|
| 委員 | 木村 裕一 (会長)、池谷 志保、磯部 智明、
小田 史子、北村 庄吾、才川 隆弘、鈴木 浩子、
村上 祐介 |
| 欠席委員 | 稲川 弘子、野寄 秀明 |
| 事務局 | 平野由利子医療担当部長、渥美雅人健康増進課長、
小笠原雅美健康増進課長補佐、伊藤梓口腔保健医療セ
ンター所長、川瀬真由口腔保健医療センター、榊原克
人障害保健福祉課長、栗田豪国保年金課長、西崎公康
健康医療課長、板倉称健康福祉部参与、新谷知香枝こ
ども家庭部幼保運営課指導グループ長、谷口弘記介護
保険課長、坂本田佳子高齢者福祉課医療・介護推進担
当課長、原川知己ウエルネス推進事業本部副本部長、
渡瀬雄介学校教育部健康安全課長補佐 |
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事内容
- (1) 令和5年度歯科口腔保健事業実績
 - (2) 口腔保健支援センター関連事業実績
 - (3) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
 - (4) 歯科保健の推進に関する委員のご意見
 - (5) 令和6年度歯科保健事業計画
- 6 会議録作成者 健康増進課口腔保健医療センター 藤田亮子
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有

8 会議記録

(1) 令和5年度歯科口腔保健事業実績

(事務局)

令和5年度歯科口腔保健事業実績について説明を行った。

(委員)

むし歯の数が増えていることへの対応策はあるか。

フッ化物洗口の実施数が特に少ない幼稚園への対応策はあるか。

(事務局)

むし歯の数が増えていることへの対応策については今後検討していく。

フッ化物洗口の実施施設数について実施数が増えるよう幼保運営課と協議を行っていく。

(委員)

公立幼稚園のフッ化物洗口の実施園が少ないが、市の機関へのアプローチは考えているか。

フッ化物塗布の実施を行政はどのように考えているか。

(事務局)

フッ化物洗口については関係課と協議を行っていく。

フッ化物塗布については今後検討していく。

(委員)

市内の障がい者に関して、障がい者施設歯科健診事業に参加しない施設を利用している者も多く、その口腔内の状況が不明である。例えば障害保健福祉課とともにそれらの施設へアンケートを行うことも状況把握の一つの方法と考えられるので検討をしてほしい。

(事務局)

関係課と協議を行っていく。

(2) 口腔保健支援センター関連事業実績

(事務局)

口腔保健支援センター関連事業実績について説明を行った。

(委員)

障がい者歯科連携推進事業について、紹介率は上がっているか。また、センターから逆紹介はどのくらいの数があるのか。どの地域でも普通に歯科受診ができるような土壌をつくる取組みをさらに進めてほしい。

(事務局)

紹介状による患者については、昨年は半数に上り増えている実感がある。

診療数が増えてきており、地域で診られる患者は積極的に地域で診られるような体制を作っていくので相談をさせてほしい。

(会長)

紹介率などの数字についてはデータを提供してほしい。

(3) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(事務局)

歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組について説明を行った。

(会長)

浜松市は、災害時の歯科診療について継続的に話しあってほしい。

(委員)

県東部地域では全身麻酔の診療ができないと聞いている。麻酔科医が不足しているようだが、浜松の状況がわかれば教えてほしい。

(事務局)

浜松市でも全身麻酔ができる医療機関は限られている。

今年度「浜松市内の病院等における外来障がい者歯科診療および全身麻酔下集中歯科治療受診の手引き」を改定予定のため、現在各病院の状況を確認しているので、2回目の推進会議である程度お示しできるかと思う。

(委員)

今後、全身麻酔ができない事例ができれば教えてほしい

(委員)

「状況に応じた歯科口腔保健医療対策」の中に中山間地域をふくめ、取り組んでほしい。水窪では70歳を超えた一人の歯科医師が対応している。通院困難な高齢者も多く訪問診療は機材も多く難しく、他地域の歯科医師が出向くことも交通の支援も検討したようだ。

(4) 歯科保健の推進に関する委員のご意見

(委員)

引き続きケアマネ向けの研修会や訪問歯科などについての説明の機会をいただきたい。介護関係団体を通じて全ケアマネ事業所へ情報を提供することも可能である。

(事務局)

ケアマネ向けの研修会や説明会などについて実施可能である。パンフレットの送付などは介護保険課と連携して前向きに検討していく。

(委員)

障がい者歯科協力歯科医院の周知を、特に幼児期の保護者向けのチラシとスマホで検索できると周知の効果があると思う。

近年は福祉の専門職が少ないようなグループホームもあるので、成人期の暮らしの中での歯科受診と口腔ケアについて職員向けの講演や研修を呼び掛けてほしい。

(事務局)

障がい者手帳交付時にチラシを配布できるように調整している。検索については浜松市歯科医師会のホームページに載せている。グループホームの職員に向けた講演や研修については、障害保健福祉課と連携して前向きに検討していく。

(委員)

パンフレットの配布やイベントの企画・情報の発信等積極的に行ってほしい。

園での子どもたちの様子を知りたいようであれば、園長会で協力園を打診することができると思うので依頼をしてほしい。

(事務局)

口の健康づくりに関する情報の発信については、幼保運営課と連携し、前向きに検討していく。今年度は公立園への訪問を検討しているが、また見学やお願いしたいことがあれば相談させていただく。

(会長)

委員の意見をもとに関係する課、組織、団体は協力しあいより充実した歯科保健事業が展開されることを期待する。

(5) 令和6年度歯科保健事業計画

(事務局)

令和6年度歯科保健事業計画について説明を行った。

(会長)

市民公開講座について説明を行った。

(委員)

重ねてではあるが、3歳児健診の結果として多いことがわかったむし歯については、将来増えてしまうことが予想されるため園児の時期から対策を打つべきで、幼稚園ではフッ化物洗口の充実を考えてほしい。委員の皆さまには、将来むし歯が増えないように今のうちからできる方法を要望してほしい。

その他

(委員)

糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおいて歯周病検診受診券を発行することとなった。医科と歯科が協力していくことで充実した取組を出せると思うので今後もよろしくをお願いします。

(委員)

高校生から20歳までの方への歯科啓発がない。途切れている期間の啓発を考えてほしい。

(会長)

示されている歯科の課題について全体で協議をすることが難しいものについては、それぞれの課と調整できればと考えている。

(事務局)

令和6年度第2回の歯科保健推進会議は、令和7年の2月の木曜日午後1時30分から3時を予定している。日程については改めて調整させていただきたい。